

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	防災及び災害関係事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	防災対策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	01危機管理体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の生命、身体及び財産を様々な災害から守り、被害を最小限に抑える。また、平時から災害に備える重要性を啓発し、自主防災力の向上並びに自助・共助の意識高揚を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	防災計画等の作成、災害情報の集約及び発信力の強化並びに防災訓練を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,846 千円	19,045 千円	44,966 千円
うち、一般財源	13,846 千円	19,045 千円	44,966 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
防災訓練実施回数	回	14	17	22		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
防災訓練参加者数	人	3,352	3,882	5,665	令和8年度	6,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度に発生した石川県能登半島地震を受け、大規模災害に備えて便袋セットや発電機など避難所等における備蓄を強化した。また、各公民館に水害リスクを目に見える形で実感できる想定浸水深を表示し、防災意識の向上を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	石川県能登半島地震や南海トラフ臨時情報の発表を受け、住民の防災への関心が高まりを見せている。これを機会と捉え、防災訓練の実施や出前講座で地域の防災活動に参画し、多くの地域住民に対して防災意識の啓発を積極的に行うことができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	自主防災組織活性化事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	防災対策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成9年度	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	01危機管理体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民または自主防災組織	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	激甚化する自然災害に備えるため、自主防災組織の活性化を図り、地域防災力を向上させる。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	自主防災組織が整備する資機材の購入(修繕)並びに防災訓練や講習会など防災活動に要した費用に対し補助金を交付するもの。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	7,109 千円	7,802 千円	5,783 千円
うち、一般財源	7,109 千円	7,802 千円	5,783 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
自主防災組織補助金交付件数	件	31	28	30		
防災士育成事業補助金交付件数	件	3	5	5		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
自主防災組織結成率 (自主防災組織加入町内会数、町内会連合会に属する町内会等)	%	93.3	93.3	93.2	令和8年度	100
町内会等に推薦された防災士の数(累計)	人	31	36	41	令和8年度	51

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	自主防災組織補助金については、補助対象とする資機材の拡充を行った。また、インターネットでの購入を可能とする見直しを行った。防災士育成事業補助金については、引き続き活動状況の調査を行うとともに、補助対象となる交通費について見直した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	自主防災組織補助金については、石川県能登半島地震や南海トラフ臨時情報の発表を受け、需要の高まりを感じている。より多くの組織に活用いただけるよう補助回数に応じた補助額の見直しや町内会連合会に属さない組織への補助について検討を行う。防災士育成事業補助金については、活動状況の調査の結果、これまで補助を受けた防災士の多くが積極的に活動されており、一定の効果を生んでいると感じている。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	災害情報伝達・収集システム事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	防災対策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成27年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	01危機管理体制の充実		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	様々な自然災害により被害が想定される地域の住民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	適時・適切に住民の避難行動を促すことで、被害を最小限にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	災害情報を的確に収集し、住民に適時・適切に伝達するためのシステムを整備し、動作確認などの定期点検を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	75,404 千円	40,500 千円	36,817 千円
うち、一般財源	45,608 千円	39,505 千円	35,761 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
情報伝達訓練実施回数	回	12	16	18		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
情報伝達訓練実施回数(累計)	回	48	52	70	令和8年度	96

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 地上デジタル放送波によるIPDCを活用した情報伝達手段については、適切な維持管理と運用を行う。令和5年度に導入した危機管理情報システムについては、庁内の情報共有と市民への情報発信に寄与するため継続的な訓練を実施した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地上デジタル放送波によるIPDCを活用した情報伝達手段については、適切な維持管理と運用と次期戸別受信機の導入に向けた調査・検討を行う。危機管理情報システムについては、庁内の情報共有と市民への情報発信に寄与するため、引き続き訓練を継続的に実施し、運用面の評価と改善を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ICTを活用した安全・安心のまちづくり推進事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定したKPI(刑法犯認知件数:目標値1,800件(2026年)・交通人身事故発生件数:目標値1,050件(2026年))を達成する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内全28小学校区の通学路や学校周辺等を中心に設置した1,571台の見守りカメラ等の正常な稼働を維持し、既存の見守りカメラ1,418台のうち700台を更新した。また、必要に応じて見守りカメラの効果的な配置を再検討し、移設を実施した。さらに、さらなる安全・安心なまちづくりを実現するために高度化見守りカメラ効果検証支援等業務を実施した。また、見守りカメラの設置に係る周知、見守りサービスの普及啓発を行った。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	375,260 千円	230,650 千円	370,550 千円
うち、一般財源	60,427 千円	146,467 千円	226,792 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
画像提供件数	件	1,038	1,060	1,315		
見守りカメラ移設数	件	9	12	5		
見守りサービス小学生加入者数	人	1,727	1,961	2,175		
見守りサービス高齢者加入者数	人	272	278	273		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
刑法犯認知件数	件	1,699	1,752	1,761	令和8年度	1,800
防犯・交通安全対策の推進に関する市民の満足度	%	57.9	58.9	52.4	令和8年度	64.8
見守りサービスの認知度	%	26.4	29.6	36.6	令和8年度	46.6

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	市内全28小学校区の通学路や学校周辺等を中心に設置した見守りカメラ1,571台の維持管理と、既存の見守りカメラ1,418台のうち700台を更新した。また、さらなる安全・安心なまちづくりを実現するために高度化見守りカメラ効果検証支援等業務を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市内全28小学校区の通学路や学校周辺等を中心に設置した見守りカメラ1,571台の維持管理を行うとともに、必要に応じて移設を行うことで、犯罪の抑止に繋がっており、カメラ設置前と比べて明らかに刑法犯認知件数は減少している。さらに、さらなる安全・安心なまちづくりを実現するために高度化見守りカメラ効果検証業務を実施した。また、警察の捜査に画像等データを提供し、協力することが事件の早期解決に役立っている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	防犯のまちづくり支援事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成16年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域の防犯活動団体への支援や防犯に関する講座の実施、「わんわんパトロール」の推奨により、市民の防犯意識向上や防犯活動団体の活動を活発化する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	地域防犯活動団体連絡会議で防犯活動に必要な物資の配布を行うとともに、防犯活動団体相互の情報交換を行う。ホームページや広報紙等でわんわんパトロール隊員を募集し、パトロールグッズを配布する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	762 千円	901 千円	774 千円
うち、一般財源	762 千円	901 千円	774 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
講座回数	回	1	1	1		
講座参加者数	人	40	48	39		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
刑法犯認知件数	件	1,699	1,752	1,761	令和8年度	1,800
防犯・交通安全対策の推進に関する市民の満足度	%	57.9	58.9	52.4	令和8年度	64.8

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	「防犯講座」にて広く参加者を募り、市民の防犯意識の向上を目指した。また、「わんわんパトロール推進事業」の隊員登録を推進するため、海洋文化センターで行われるイベント「愛犬マルシェ」に出展し啓発活動を行うことで地域防犯力の向上に努めた。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地域防犯活動団体へ向けて、「自らの安全は自ら守る」、「地域の安全は地域で守る」といった防犯意識を継続して高めていくことになり、有効性が高い。今後も、「ながら見守り」の一つである「わんわんパトロール」を推奨するとともに、防犯講座の内容や配布物資については、アンケートを実施し、ニーズに応じた内容にするとともに地域防犯活動団体連絡会議において情報交換を行う。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	安全・安心パトロール事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成16年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	犯罪の未然防止、市民の防犯意識の高揚を目指すことで、犯罪発生、街頭犯罪や特殊詐欺、不審者による声かけ事案などの抑止を図る。また、交通安全意識の向上を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	青色回転灯を装着した防犯・交通パトロールカー2台により、児童・生徒の下校する時間帯を中心に地域を巡回する。巡回にあたっては、事前に警察や教育委員会から提供された情報をもとに、学校園や交番、ATMへ立ち寄り、犯罪情報を提供すると共に地域での情報収集を行い、地域の状況に応じたパトロールを行う。併せて、交通ルールの遵守を促す音声を流し、交通安全意識の啓発を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	11,195 千円	11,578 千円	10,432 千円
うち、一般財源	10,695 千円	11,078 千円	10,432 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
巡回パトロール件数	件	703	699	483		
巡回パトロールでの立寄り件数	件	16,286	17,165	10,350		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
刑法犯認知件数	件	1,699	1,752	1,761	令和8年度	1,800
交通人身事故発生件数	件	950	907	859	令和8年度	1,050
防犯・交通安全対策の推進に関する市民の満足度	%	57.9	58.9	52.4	令和8年度	64.8

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	犯罪の未然防止や交通安全意識の向上に繋がっており、非常に有効である。しかし、パトロール隊員の高齢化・人員減が進んでいることや、令和6年度に播磨町からのパトロール依頼がなくなったことから、体制を見直し、昼のパトロールを3台から2台へ変更した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	安全・安心パトロール事業は、犯罪の未然防止、街頭犯罪や声かけ事案の抑止、交通安全意識の向上に繋がっており、非常に有効である。しかし、年々パトロール隊員の高齢化・人員減が進んでいる。令和6年度にパトロール体制の見直しを行い、昼のパトロールを3台から2台へ変更したが、引き続き事業の方向性や体制の見直しが必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	防犯協会事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	警察などの関係機関と連携し、犯罪の未然防止のための活動を行い、市民生活の安全を確保し、明るく住みよいまちづくりを推進する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	防犯キャンペーン・広報活動・街頭啓発・少年非行防止活動・防犯研修会等を防犯協会の組織を通して実施するため、加古川地区防犯協会に負担金を支出する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	7,963 千円	8,309 千円	8,266 千円
うち、一般財源	7,963 千円	8,309 千円	8,266 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
街頭啓発回数	回	4	1	4		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
刑法犯認知件数	回	1,699	1,752	1,761	令和8年度	1,800
防犯・交通安全対策の推進に関する市民の満足度	%	57.9	58.9	52.4	令和8年度	64.8

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	「加古川地区安全・安心まちづくり住民大会」において、警察官表彰や防犯講演を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	加古川地区防犯協会において、防犯に関する広報活動や街頭啓発に取り組んでおり、犯罪防止や市民生活の安全確保に有効である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	地域見守り防犯カメラ設置補助事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成25年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	まちづくり防犯グループ等の地域団体が行う防犯カメラの設置を促進し、犯罪の未然防止、市民の防犯意識の高揚、地域防犯力の向上を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	まちづくり防犯グループ等の地域団体が行う防犯カメラの設置に要する経費の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,546 千円	2,143 千円	1,072 千円
うち、一般財源	1,546 千円	1,365 千円	833 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
まちづくり防犯グループ等の地域団体補助件数	件	14	13	6		
まちづくり防犯グループ等の地域団体補助金額	千円	1,546	2,143	1,072		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
防犯カメラ整備率	%	38	39	39	令和7年度	40.5

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	地域見守り防犯カメラ設置補助事業の周知や、地域の防犯意識の高まりの結果、防犯カメラ整備率が向上し、地域の安全に貢献している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	見守りカメラ設置後も一定数の地域団体が防犯カメラの設置に取り組まれており、地域の犯罪発生を抑止、市民生活の安全・安心につながっている。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	自動録音電話機等普及促進事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和6年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に住民票を有する65歳以上の高齢者	74,124 (R7.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	着信前自動警告及び自動録音機能を有する固定電話機又は外付け録音機の設置を促進し、特殊詐欺被害を防ぐ。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	着信前自動警告及び自動録音機能を有する固定電話機又は外付け録音機の設置を促進するため、高齢者等に対し自動録音電話機等の購入費用の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	— 千円	15,183 千円
うち、一般財源	— 千円	— 千円	156 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
チラシ配布数	枚	—	—	11,643		
啓発回数	回	—	—	16		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
申請件数	件	—	—	1,236	令和6年度	1,000
特殊詐欺被害件数	件	44	52	38	令和6年度	40

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	対象者へ周知するため、広報やホームページのほか、SNSやBANBANテレビ「東播フォーカス」での情報発信を行った。また、地区民生児童委員会や地域包括支援センター、家電量販店、兵庫県電機商業組合へチラシ配布等について協力依頼を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市と県による広報掲載やチラシ配布等の周知活動の結果、予想を上回る数の申請があった。65歳以上の高齢者が、この補助金をきっかけに特殊詐欺被害防止機能のついた電話機に買い替えることで、固定電話に電話をかける手口の特殊詐欺被害の未然防止ができ、市民生活の安全・安心につながっている。県補助事業が令和6年度で終了したことに伴い、本事業も終了する。
今後の展開	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 ■完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	交通安全対策事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	03防犯・交通安全対策の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民一人一人へ、交通ルール・マナーの遵守及び交通安全意識を高揚させることにより、交通事故防止を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川警察署や加古川交通安全協会などの関係機関と連携しながら交通安全普及啓発活動や交通安全教室を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,996 千円	2,129 千円	2,175 千円
うち、一般財源	1,996 千円	2,129 千円	2,175 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
交通安全教室の開催	回	59	74	74		
街頭啓発回数	回	29	31	34		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
交通人身事故発生件数	件	950	907	859	令和8年度	1,050
防犯・交通安全対策の推進に関する市民の満足度	%	57.9	58.9	52.4	令和8年度	64.8

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和5年度ヘルメット着用努力義務化を受け、市内の中学生・高校生全員にチラシを配布して自転車安全利用五則の周知を図るとともに、高齢者には月3回の街頭啓発でヘルメット着用を呼びかけ、令和6年の自転車事故の死者数は0名となった(自転車事故死者数:令和5年2名、令和4年2名)。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	交通安全啓発活動、交通安全教室を継続して行うことは、市民の交通安全に対する意識の向上、交通ルールやマナーを身につけることにつながっており、効果的である。しかし、依然として多発している高齢者の事故、自転車関係事故や交通死亡事故の撲滅を重点事項と位置づけて事業を実施する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	消費者保護対策事業	部局名	防災安全部
		課(室)名	生活安全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和45年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	04安全・安心な消費生活の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内に居住する者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	消費生活に関する正しい情報や知識を習得し、複雑多様化する社会に対応できる消費者としての自立支援と消費生活の安定及び向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	消費生活相談員による消費生活相談及び多重債務相談、消費者問題に関する教育・啓発(高齢者団体等への出前講座の実施、店舗前啓発、ひとり世帯高齢者や、要支援者等への啓発チラシの配布、小中学生への啓発パンフレットの配布等)の実施。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	9,783 千円	9,526 千円	11,294 千円
うち、一般財源	6,417 千円	3,766 千円	4,524 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
出前講座申込数	回	13	21	19		
消費生活センター相談件数	件	1,581	1,530	1,615		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
出前講座参加者数	人	554	516	477	令和8年度	600
消費生活相談完結数	件	1,581	1,530	1,610	令和8年度	1,600

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 若年者から高齢者まで悪質な被害にあうケースが多発しており、消費者被害の未然防止にむけた事業実施のニーズは高い。消費者相談員による出前講座の実施や情報配信、パンフレット等の配布など、啓発活動を実施した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	消費生活相談においては、若年から高齢者まで、インターネット関連の相談が多数寄せられており、被害が増加している。このような状況の中で、消費者被害の未然防止にむけた事業実施のニーズは高い。引き続き、効果的な啓発活動等を実施していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	シティプロモーション推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs		
平成28年度	—	⑤市施策事業(経常)			
総合計画	基本目標	_06まちづくりの進め方		政策	_01まちづくりの進め方
	施策	02シティプロモーションの推進			

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及び市外の方		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民には、市や住んでいる地域に誇りを持ち、より愛着を深めてもらおうと同時に、いつまでも住み続けたいという定住意向を高める。さらに、市外への波及効果も狙い、生活の場として選んでもらえるような情報発信を行う。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	広報紙や市公式SNSなど様々な方法により市の魅力を市内外に発信する。また、民間事業者のノウハウを活用したシティプロモーションを推進する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	14,165 千円	14,874 千円	16,036 千円
うち、一般財源	14,164 千円	14,865 千円	16,030 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
公式SNS登録者数	人	54,262	58,937	74,062		
メディア向けプレスリリース数	回	71	52	44		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
市民意識調査での定住意向	%	74.4	75.5	72.1	令和8年度	78.0
市民意識調査での市に愛着を感じる市民の割合	%	70.4	69.8	71.0	令和8年度	76.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	市施策をはじめ加古川市の魅力について、メディア向けのリリースを積極的に行った。また、SNSによる情報発信も引き続き行い、登録者数も増加した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	公式SNS登録者数が大幅に増加しており、市の魅力や取組みの適切な情報発信に繋がってきている。定住意向の数値は低下したものの、愛着度は上昇したため、引き続きメディア向け広報やWEB広告、SNSなどの社会情勢に合わせた様々な手法によってプロモーションの継続が必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	総合計画管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事業区分	事務事業に関連の深いSDGs						
平成28年度		令和8年度		⑤市施策事業(経常)							
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方			政策		01まちづくりの進め方				
	施策	03効果的・効率的な行財政運営									

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市が独自に実施する事業	426 (R7. 3. 31時点)	事業
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	総合計画の掲げる目標を達成できるよう、各種事業の検討・見直しを行うとともに、新規事業の実現化を図ることで、市民満足度及び市民幸福度を高める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	行政評価や市民意識調査を実施し、総合計画の進行管理を行うとともに、事業の見直しや新規事業の立案を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,039 千円	2,341 千円	4,801 千円
うち、一般財源	2,039 千円	2,341 千円	4,801 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事務事業評価実施事業数	件	170	179	195		
市民意識調査回収率	%	35.8	33.9	33.4		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
まちづくりの指標における取組のうち、満足度が50%以上の割合	%	44	36	60	令和8年度	100
市民の幸福度(10点満点の平均値)	点	6.85	6.89	6.85	令和8年度	令和4年度から上昇

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和6年度からは、総合計画の進捗管理を目的とした市民意識調査と、市民の幸福に寄与する要因を分析して施策立案に活かす地域幸福度調査を、別々に実施することで、それぞれの調査目的を明確化した。また、将来の都市像にある「幸せを実感できるまち」の実現を推進するため、昨年度に引き続き、Well-Being指標を用いた施策立案手法を学ぶ研修会を係長級を対象に実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市民意識調査では、施策に対する満足度および重要度を把握しており、令和6年度調査では、前年度と比較して施策への満足度がおおむね向上していた。 また、市民意識調査とは別に実施した地域幸福度調査では、市民の幸福感に影響を与える因子が、これまでの調査結果と同様であり、市民の幸福度に関する傾向が一定であることが確認された。 今後、このような調査結果を施策立案に活用していくためには、性年代別などのクロス集計を通じて特徴を把握するとともに、調査結果を庁内に周知し、活用を促す意識の醸成が必要である。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	政策推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成28年度	令和12年度	⑤市施策事業(経常)	    	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方		政策
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		01まちづくりの進め方

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、市内企業、市内で活動する市外企業等		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	SDGsへの理解を促し、市民や企業の行動変容を通じて持続可能なまちづくりを進める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市独自のSDGsロゴマークを活用した広報啓発活動(バスラッピング、懸垂幕、バナー等)を継続実施した。また、庁内では、事務事業評価におけるSDGsゴールの紐付けや、窓口掲示による取り組み表明を通じて、SDGsの視点の定着を図った。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	11,074 千円	1,925 千円	1,246 千円
うち、一般財源	11,074 千円	1,925 千円	1,246 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
市独自ロゴマークの使用 届出企業	回	14	12	4		
SDGs啓発掲示実施数	場所数	0	4	4		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
SDGsについて概ね内容を理解している人の割合	%	—	—	60.4	令和12年度	67.4
SDGsを意識した行動を行っている人の割合	%	—	—	55	令和12年度	62

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市内事業者への取組周知の十分な展開には至らなかったが、SDGsロゴマークを活用したバスラッピングや懸垂幕等の啓発は継続し、庁内でもゴールの紐付けや窓口掲示により視点の定着を図った。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	広報啓発や庁内での視点定着など、SDGsの取り組みを着実に継続し、行政内部の基盤づくりは一定の成果を上げている。一方で、市民や事業者による理解や行動には伸びしろがあり、今後も状況に応じた周知や情報共有の工夫が求められる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成28年度	令和8年度	⑤市施策事業(経常)	    	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員、加古川市まち・ひと・しごと創生本部員	33 (R7. 3. 31時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある地方創生を推進するため、市民や有識者等からの幅広い意見を聴取し、取組への反映を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市長を本部長とし、副市長をはじめ各部局長を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生本部や、外部有識者を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議において、本市における地方創生の取組を推進する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	132 千円	167 千円	63 千円
うち、一般財源	132 千円	167 千円	63 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
まち・ひと・しごと創生戦略会議開催回数	回	1	1	1		
まち・ひと・しごと創生本部会議開催回数	回	1	1	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
総合戦略の基本目標における目標値の達成率	%	0	0	0	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度においては、令和5年度に引き続き、JR加古川駅から加古川河川敷において、都心としての賑わいの創出に向けた取組を進めるとともに、加古川駅にデジタルサイネージを設置するなどデジタル技術の活用を進めた。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度においては、前年度に引き続き総合戦略に関連する各施策に取り組み、デジタル田園都市国家構想交付金や企業版ふるさと納税を活用しながら事業を推進した。総合戦略の基本目標を達成し、未来への活力があふれるまちを実現するためには、引き続き、総合戦略の重点施策である「子育て施策のさらなる充実」「しごと(働く場)の創出」「地域活力のさらなる向上」に係る取組を推進することが必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	広域行政事務事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs						
—	—	⑤市施策事業(経常)							
総合計画	基本目標	_06まちづくりの進め方			政策	_01まちづくりの進め方			
	施策	04広域的なまちづくりの推進							

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市	1 (R7.4.1時点)	団体
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	近隣市町との連携・協力を強化し、保健・医療、廃棄物処理、観光など単独の自治体だけでは解決が困難な行政課題に対応する。また、人口減少・少子高齢社会が進行するなかで、広域でのスケールメリットを生かし、効果的・効率的に行政を運営する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各種広域行政協議会等に参画し、近隣市町と連携協力して課題の調査研究や事業の実施を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	5,963 千円	4,981 千円	5,950 千円
うち、一般財源	3,698 千円	2,894 千円	2,894 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
広域組織への参加数	件	5	5	5		
広域組織構成市町数	市町	21	21	21		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
東播臨海広域行政協議会で実施した事業数	件	8	8	9	令和6年度	9
連携中枢都市圏ビジョン参加数	件	49	50	49	令和6年度	49

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 例年実施している国の予算編成に対する要望活動を行うなど、引き続き2市2町で連携し、事業を実施した。また、令和6年度は東播臨海広域行政協議会において県が主催するマルシェ＆ワークショップイベントに出展し、各市町及びふるさと納税のPRを行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	単独の自治体だけでは解決が困難な行政課題への対応や複数市町で連携して実施したほうがより効果的な地域の情報発信については、県や近隣市町との連携が必要であるため、今後も東播臨海広域行政協議会をはじめとした広域連携組織への参加により、県や近隣市町と連携することで相互協力できる体制を保持していくことが必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ホームページ管理運営事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成6年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方		政策
	施策	02シティプロモーションの推進		01まちづくりの進め方

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	インターネット利用者数(人口普及率)	215,494 (R5.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民及びインターネット閲覧者が求める市の情報をより分かりやすく、より早く提供することで市民生活の利便性を高める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市の施策、計画、事業などの情報が適切に発信されるよう、市ホームページの適切なシステムの管理を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,194 千円	2,970 千円	10,585 千円
うち、一般財源	3,194 千円	2,970 千円	10,585 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
ホームページ公開ページ数	頁	15,357	16,120	15,081		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
ホームページアンケートで見つけやすかったと回答した人の割合	%	60.3	59.0	64.5	令和8年度	80.0

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年7月にリニューアルを行い、ゲートページの追加や各ページのトップデザインやカテゴリを整理し、利用者が必要な情報を容易に探すことができるように視認性の向上を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	活動指標の公開ページ数は減少しているが、令和6年7月のリニューアルに伴い、カテゴリの整理により不要なページが削減されたためである。その成果として、ホームページアンケートで見つけやすかったと回答した人の割合が増加している。引き続き、利用者が求める情報にたどり着きやすい環境整備のため、さらに効率的なページ作成や管理を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	広聴事業	部局名	企画部
		課(室)名	企画広報課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和50年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	02シティプロモーションの推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	町内会:町内会数311 (R6.4.1時点) 全市民:世帯数110,508 (R6.10.1時点)
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	将来のまちづくりについての意見や要望などを提案できる機会を設け、行政運営に反映されることで、シビックプライドを醸成する。
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	オープンミーティング、行政懇談会、地区別行政懇談会の実施(市内10地区)やスマイルメール(市民の声受付サービス)などにより意見や要望の受け付けを行っている。

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,255 千円	1,310 千円	1,418 千円
うち、一般財源	1,255 千円	1,310 千円	1,418 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
オープンミーティング開催数	回	12	3	3		
懇談会開催数	回	1	11	10		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
OM・懇談会参加者数	人	356	2,961	3,024	令和8年度	3,000
オープンミーティング満足度	%	49	63	60	令和8年度	75

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	オープンミーティングについては、会場に加えて市公式SNS(YouTube、Instagram)によるライブ配信を行った。また、行政懇談会は荒天により中止となったが、地区別行政との懇談会については10地区で開催した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	オープンミーティングでライブ配信をしたことで、より多くの人に参加してもらうことができた。成果指標の満足度については、会場の通信状況が悪く、画面が固まったり、音声聞き取りにくい場面があったため60%になったと考えられる。引き続き、「広聴」の場を提供し対話をしていくことで市民満足度の向上を図っていききたい。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	大学連携推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	行政経営課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	令和6年度	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内企業・団体(行政組織を含む)の抱える課題		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	大学の専門的な知見により、市内企業・団体(行政組織を含む)の抱える課題を解決する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	行政・大学・地元メディアが地域の課題解決に取り組む「加古川『知』を結ぶプロジェクト」において、学生が課題を調査研究し、その解決策を提案する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	28 千円	36 千円	50 千円
うち、一般財源	28 千円	36 千円	50 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
提案件数	件	3	3	4		
成果報告会参加者数	人	70	70	100		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
提案実現件数	件	3	1	3	令和6年度	3

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	参加企業・団体の数を増やすため、市ホームページやプレスリリースの実施に加え、「商工かこがわ」へのチラシの挟み込みにより周知を行い、募集を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度は企業課題3件、行政課題1件の提案のうち、企業課題3件について実現または考え方の採用に至っている。 今後は連携協定に基づき、本市が協力しながら大学事務局が主体となって事業を実施することとなったため、予算事業としては令和6年度をもって廃止とする。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	旧加古川図書館あり方検討事業	部局名	企画部
		課(室)名	行政経営課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和6年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	_06まちづくりの進め方	政策	_01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	旧加古川図書館	1 (R6. 4. 1時点)	棟
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	旧加古川図書館の利活用について、諸条件及び課題を整理し、方針の決定に必要な事項を調査する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	事業実施にかかる市の費用負担及び効果の算出、事業スキームの検討、市民ニーズの調査等を行った。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	－ 千円	－ 千円	9,471 千円
うち、一般財源	－ 千円	－ 千円	9,471 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
市民アンケート調査数	人	－	－	2,000		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
方針決定に必要な事項の報告	回	－	－	1	令和6年度	1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	旧加古川図書館の方針決定を支援するため、委託により事業実施にかかる市の費用負担及び効果の算出、事業スキームの検討、市民ニーズの調査等を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点のもとに、各部局において総合的に判断した評価	旧加古川図書館の利活用について、方針を決定するため、諸条件及び課題を整理し、方針の決定に必要な事項を調査することができた。
今後の展開	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 ■完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	スマートシティ推進事業	部局名	企画部
		課(室)名	デジタル改革推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	—	⑥市施策事業(臨時)	    	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、市内に通勤・通学する方	254,103 (R7.4.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市の様々な課題について、デジタル技術を活用して解決するとともに、市民の誰もがその豊かさを享受することで生活の質を高め、ひいては市民満足度及び地域幸福度の向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	デジタル技術を活用して、「①市民の生活の質(QOL)や利便性を向上するサービス」、「②都市機能の強化や都市課題の解決」、「③デジタル行政の推進」をすることで、地域課題の解決を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	81,392 千円	94,018 千円	59,725 千円
うち、一般財源	44,261 千円	64,664 千円	44,894 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
オープンデータの提供 ファイル数	件	1,865	2,107	2,370		
市内イベント等における アプリ周知広報回数	回	43	46	43		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
行政の効率化に関して満足している市民の割合	%	37.9	37.2	47.2	令和8年度	50.0
「スマートシティ」の市民 認知度	%	7.4	20.4	28.4	令和8年度	33.3

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	情報通信技術基盤、Decidimの改良を実施した。また、近隣自治体と見守りサービス等の広域展開を検討し、サービススキームを確立させたほか、みまもりアプリとウェルビーポイントとの連携機能を構築した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	見守りサービス等の広域展開に向けて、近隣市町とともに課題や期待される効果を整理し、サービススキームを確立させた。また、情報通信技術基盤、Decidimを改良し、人口統計ダッシュボードを公開するなどデータやデジタル技術を用いた市民との接点の強化を図る仕組みを構築した。今後も引き続き、市の課題解決に資するスマートシティ施策を推進する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	情報基盤管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	デジタル改革推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市職員及び行政デジタルサービスを利用する市民		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	システムを安定して利用できる状態にする。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	システム運用管理業務やサービスデスク業務の委託、システム機器の賃借により、システムの安定稼働と円滑な問い合わせ対応を実現するとともに、行政サービスのデジタル化を通じて、行政事務の効率化・簡素化を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	173,036 千円	186,112 千円	239,286 千円
うち、一般財源	173,036 千円	186,112 千円	239,286 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
サービスデスク受付件数	件	7,200	7,278	7,852		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
ネットワーク維持管理(障害対応)	件	76	51	79	令和8年度	50

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	行政サービスの提供及び市民生活に影響を及ぼす重要な基盤であることから、安定的な運用を確保するため、適切な保守対応及び機器の更新等を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	本事業は、行政サービスの安定的な提供を支える基盤として必要不可欠であり、業務委託等を通じて効率的かつ適切に実施できている。 今後も引き続き現行の水準を維持しつつ、必要に応じて保守・更新等の対応を計画的に行うことにより、システムの安定稼働を確保していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	平和祈念事業	部局名	総務部
		課(室)名	総務課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	過去の戦争の惨禍に心向け、平和の尊さを次世代に継承していくため、広く市民に周知し、市民の平和意識の高揚を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	平和祈念展の開催。折り鶴の募集、千羽鶴の作成。広島市平和記念式典への学生派遣。広島平和の親子バスツアーの実施。原爆写真展の開催。被爆体験出前講座(かたりべ)の実施。核兵器廃絶宣言都市標柱の設置。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,121 千円	3,322 千円	3,396 千円
うち、一般財源	3,121 千円	3,322 千円	3,396 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
集まった折り鶴	羽	398,033	300,279	376,031		
平和祈念展来場者数	人	330	347	581		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
平和祈念展アンケート満足度	%	90.7	89.6	94.9	令和8年度	95

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	平和祈念展の展示内容や展示場所の見直しを行い、来場者の増を図った。 また、広く市民が平和について考える機会を増やすため、平和祈念展(11/30実施)にて実施した展示内容の一部を市役所新館1階市民ロビーにおいて展示を行った。(12/2～6)

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和5年度に、市が行ってきた事業と原水爆禁止加古川市協議会が行ってきた事業を統合し、広島平和記念式典学生派遣、被爆体験伝承講話、平和祈念展の展示期間延長等の新たな取組も行っており、市民の平和への意識をより高めるため、効率的、効果的に事業が実施された。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	スマート手続推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民課で申請・届出を行う市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の行政手続きにかかる時間的負担・手間は大きく、また、煩雑化する窓口業務に、限られた人員・財源で対応する必要がある。そこで、民間のノウハウやICT等を活用し、市民の利便性と満足度の向上、業務の効率化を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	民間の知見やノウハウ、ICTなどを積極的に活用した窓口関連業務の改善・改革(窓口環境の整備、事務処理の自動化など)の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	26,187 千円	26,118 千円	5,291 千円
うち、一般財源	26,187 千円	26,118 千円	5,291 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
オンライン申請件数	件	2,637	4,248	3,041		
窓口支援システム申請件数	件	5,063	33,802	45,260		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
行政の効率化が図られていると思う市民の割合	%	37.9	37.2	47.2	令和8年度	50

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和6年度は市民センターへの窓口支援システム導入に向け、システムの動作説明を各市民センターに行うとともにヒアリングを実施した。窓口支援システムにかかるRPAの作業を増やし、市民の行政手続きに係る負担及び職員の業務負担の軽減に寄与した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度は、窓口支援システムにかかるRPA作業を増やし、窓口での手続きにかかる時間的負担と手間の削減につながった。 今後、市民にとってより一層の利便性と満足度向上を図れるよう、各市民センターでの窓口支援システムの活用について市民センターと検討していく。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	人権啓発推進員活動事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	人権文化センター

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和48年度	—	⑤市施策事業(経常)	    	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
	施策	01人権文化の確立		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	人権講演会や町内懇談会への参加を通して、市民の人権意識の高揚を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各町内会長により推薦された人権啓発推進員が中心となり、地域において人権研修や啓発物資の配布を行う。また、加古川市人権啓発推進員協議会において、人権に関する講演会(明日をひらく人権のつどい)等を開催する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,592 千円	14,047 千円	13,744 千円
うち、一般財源	13,592 千円	14,047 千円	13,744 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
明日をひらく人権のつどい開催回数	回	1	1	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
人権について関心・理解が深まった割合	%	96.50	94.56	96.83	令和7年度	92
町内懇談会に参加した人数	人	－	－	6,823	令和7年度	7,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 初任者の人権啓発推進員がスムーズに町内懇談会を企画・運営できるよう、町懇研修会を実施した。参加者からは町内懇談会の進め方だけでなく、地域の現状や工夫などの情報交換ができ参考になったと、好評いただいた。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市民に対する人権啓発の機会を提供していくことは重要であり、事業を継続的に実施していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	人権相談事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	人権文化センター

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
	施策	01人権文化の確立		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	すべての市民が、家庭、地域、職場、学校などの日々の暮らしの中で、人権侵害に対しての解決を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市民の人権侵害に関わる悩みや相談に対して、電話による人権相談専用ダイヤルを設置し、対応する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	113 千円	60 千円	119 千円
うち、一般財源	113 千円	60 千円	119 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
相談受付日数	日	293	291	293		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
相談受付件数	回	159	216	182	令和7年度	180

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	市民の人権侵害に関わる悩みや相談に対して、相談者に寄り添い適切な助言や情報提供による課題解決の支援、あるいは、専門機関への紹介や取次などの対応を行った。また、公民館で実施している人権相談において、市民等の意見を反映させるため、アンケート調査を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	すべての市民が人権侵害に対して、相談できる体制づくりを確立していくことは重要であり、事業を継続的に実施していく必要がある。 なお、公民館で実施している「巡回人権相談」においては、令和7年度より「人権お困りごと相談」と名称を改める。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	女性活躍推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成28年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
	施策	02男女共同参画社会の形成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内在住の生産年齢人口(15歳～64歳)の範囲に属する女性	75,053 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	働く場など社会のあらゆる分野において、女性の力が十分に発揮されるとともに、男女がともに働きやすい環境が整う。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	女性の就業支援、エンパワーメント促進のための講座や、女性活躍推進のための企業向けの講座、訪問等を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	371 千円	445 千円	185 千円
うち、一般財源	371 千円	445 千円	185 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業実施回数	回	6	7	3		
訪問企業数	社	6	13	17		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
ひょうご仕事と生活の調和推進認定企業数	社	13	17	20	令和8年度	15

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 各種セミナー等を効果的に展開するため、令和6年度に女性活躍推進事業のセミナー等を男女共同参画推進事業に移行したことにより事業数は減となったが、男女共同参画推進専門員による企業訪問の実施、働く女性を対象としたセミナーや県関係機関等と連携し企業を対象としたセミナーを開催した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	女性を対象とした講座等を通して、女性のエンパワーメント、意識高揚につなげることができた。また、兵庫県立男女共同参画センター、(公財)兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター等と連携して、企業に対して有益な情報や制度の周知を行い、女性活躍推進の意義の普及・啓発を図ることができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	男女共同参画推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs							
平成14年度	—	⑤市施策事業(経常)								
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち		政策		04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する				
	施策	02男女共同参画社会の形成								

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	全ての市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	男女が様々な分野でともに参画し、責任を分担し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現の必要性について深く知り、女性の社会参画や男性の家庭・地域参画が増加する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	男女共同参画センターを拠点に、男女共同参画に関する啓発事業や情報の収集と発信を行う。また、女性の再就職等チャレンジを支援する講座、相談事業及び市民グループの育成等を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	1,927 千円	1,062 千円	1,171 千円
うち、一般財源	1,927 千円	1,062 千円	1,171 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業実施回数	回	28	35	36		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
審議会等への女性の参画率	%	33.1	33.9	32.9	令和8年度	40
男女共同参画の推進の満足度	%	46.6	45	55.9	令和8年度	55

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	男女共同参画や女性の再就職等チャレンジを支援する講座、相談事業及び市民グループの活動支援等を行った。また、さまざまな視点からジェンダーについて考えるセミナーなどを実施し、性別にかかわらず誰もが生きやすい男女共同参画社会を目指し、事業を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	男女共同参画や女性の就労支援などの事業を実施し、啓発事業としては一定の効果を得た。利便性の高い立地も生かしながら、男女共同参画社会の実現に向け、第5次男女共同参画行動計画に沿った事業展開を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	性の多様性尊重推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和5年度	—	⑤市施策事業(経常)	   	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
	施策	02男女共同参画社会の形成		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	全ての市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	性の多様性を尊重し、多様な生き方を互いに認め合うことで、LGBTQ+(セクシュアル・マイノリティ)の人々が抱える困難や生きづらさが解消され、だれもが自分らしく安心して暮らせる。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	性の多様性に関する正しい知識の普及啓発およびLGBTQ+専門相談を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	1,186 千円	1,898 千円
うち、一般財源	— 千円	1,186 千円	1,898 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
研修会・講演会	回	—	3	4		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
LGBTQ+の認知度「知っている」と回答する市民の割合	%	47.9	64.3	71.8	令和8年度	60

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	LGBTQ+専門相談、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度、市職員・教職員を対象とした研修会、市民向け講演会を引き続き実施した。また新たに、企業を対象とした性の多様性に関するセミナーの実施、こどもに対する取組としてリーフレットの配付や書籍の配架を行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	LGBTQ+の方が抱える不安を取り除くために、LGBTQ+専門相談やパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を実施することができた。また、研修・講演会等の実施やリーフレットの配付などにより、性の多様性に関する正しい知識の普及啓発を図ることができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	国際交流推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	02文化・芸術の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、姉妹都市等の外国人	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	国際交流機会の創出とともに国際理解を深める。また、外国諸都市の相互理解と有効親善を深める。さらに、誰もが住みやすい多文化共生社会を実現するため、外国人に対する日本語の指導や、生活に関する様々な問題の解決を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	公益財団法人加古川市国際交流協会に委託し、効果的に加古川市の国際交流事業を実施する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	8,823 千円	16,598 千円	16,690 千円
うち、一般財源	8,823 千円	16,598 千円	16,690 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
実施事業数	事業	35	27	29		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
事業参加者数	人	1,821	1,643	1,853	令和8年度	2,500
日本語学習者数	人	149	174	258	令和8年度	300

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和5年度はマリंगा市との姉妹都市提携50周年記念事業のほか青少年海外派遣事業も再開した。令和6年度も同事業を含む交流事業を実施すると共に、多文化共生社会の実現を目指して日本語学習支援を柱とする在住外国人生活支援事業の充実を図った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	外国人の日本語学習支援、登録ボランティア育成事業、姉妹都市交流、青少年海外派遣事業などの事業を行った。市内において多くの外国人が居住するようになる中、今後も引き続き、多文化共生社会の実現に向け、在住外国人生活支援事業をはじめとした、地域社会での国際理解につながる事業を充実させていく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ウェルビーポイント制度運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	_06まちづくりの進め方	政策	_01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民等による主体的な社会活動や健康活動への参加意欲を高め、また活動の輪が広がることで、協働の取り組みへの参加促進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	対象活動に参加することで、ウェルビーポイントを付与する。またポイント利用のための制度を運営する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,907 千円	10,430 千円	10,256 千円
うち、一般財源	11,383 千円	10,430 千円	10,256 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
カード配布枚数	枚	3,794	5,117	6,112		
アプリ登録者	人	1,878	2,470	3,036		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
ポイント発行数	ポイント	7,812,550	8,717,750	9,432,850	令和8年度	9,000,000
対象事業数	事業	34	35	41	令和8年度	45

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 官民連携事業として、加古川市はポイント対象事業の増加(35事業→41事業)に、ウェルビーポイント制度運営事業者はポイント加盟店の増加(71店舗→85店舗)に努めた。また、SNS等を通じて、ポイント制度の周知や参加者の拡大に努めた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	ウェルビーポイント制度運営事業者と連携しつつ、ポイント対象事業の拡充やポイント加盟店の増加をすることで、利用者の増加に繋げることができ、市民のポイント対象活動への参画に繋げることができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	かわまちづくり推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	—	⑥市施策事業(臨時)	  	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、市民活動団体等	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	転出超過による人口減少に歯止めをかけるため、JR加古川駅から歩いて行くことができる加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくりに取り組むことで、市民の地元への愛着や誇りの醸成を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	JR加古川駅から歩いて行くことができる加古川河川敷の「かわ空間」と「まち空間」が融合する良好な空間形成を目指した「かわまちづくり」に取り組む。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,098 千円	1,516 千円	118,766 千円
うち、一般財源	5,839 千円	988 千円	55,960 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
協議会等開催回数	回	2	1	2		
イベント開催回数	回	21	15	13		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
市民認知度	%	15.9	17.7	25.1	令和9年度	50
イベント来場者数	人	94,025	121,597	73,882	令和9年度	100,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	協働のまちづくり推進事業補助金による河川敷イベント支援等に引き続き取り組むことに加え、河川敷緑地の設計が完了し、工事に着手した。また、賑わい交流拠点整備運営事業者を公募型プロポーザル方式により決定し、基本協定や建設・譲渡契約を締結した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和4年8月に国に登録された「加古川市かわまちづくり計画」に基づき、市・国の役割分担のもと段階的にハード整備を進めることができ、また、継続して河川敷イベント等のソフト施策も展開し、認知度が向上した。引き続き、国土交通省や賑わい交流拠点整備運営事業者と協議・連携し、令和10年4月の全体オープンを目指す。
今後の展開	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	協働のまちづくり推進事業補助金交付事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	01多様な主体と行政との協働		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、市民活動団体等	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	町内会・自治会や市民活動団体、事業者等の多様な主体が、それぞれの特徴を生かしてともに地域の課題解決に向けて取り組む。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市民活動団体等が自主的かつ主体的に実施する公益的な事業に要する経費の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	18,478 千円	13,681 千円	13,092 千円
うち、一般財源	11,549 千円	8,126 千円	9,182 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
交付団体	団体	33	25	32		
交付額	千円	18,332	13,416	12,839		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
交付団体(累計)	団体	126	151	183	令和8年度	200
計画通りに実施できた団体の割合	%	94.6	96.3	93.7	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	関係課が協働先として積極的に関われるよう、市民活動団体・市民活動推進課・関係課で打合せを行い、情報共有や意思疎通を図るとともに、提案通りの事業実施に向けた団体へのフォローで、計画通り実施できた団体は多かったが、天候による中止もあった。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	公益的な活動を実施している市民活動団体等を支援することにより、多様な主体が連携することを促進し、それぞれの特徴を生かしてともに地域課題の解決に向けて取り組むことができた。一方で、市民活動団体の活動ニーズに柔軟に対応できていないことが課題であり、そうしたニーズへの対応として当該年度内での募集から事業完了までのスキームを検討する。
今後の展開	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	水上スポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成9年度	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	01スポーツ・レクリエーション活動の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	小学生以上の市民	245,928 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	ボート競技の普及促進に加え、加古川水域を活かした水辺の賑わいを創出する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市民レガッタや関西学生秋季選手権をはじめとしたボート競技を行う事業者の支援やカヌーの普及に向けたイベントの開催。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	7,978 千円	7,945 千円	2,800 千円
うち、一般財源	6,579 千円	7,945 千円	2,800 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
レガッタ普及事業補助金	千円	3,100	3,100	2,338		
カヌーイベント開催委託料	千円	4,500	4,513	0		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
加古川市民レガッタ参加者数	人	476	519	547	令和8年度	1,000
カヌーイベント参加者数	人	528	530	362	令和8年度	600

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 ボートについては、加古川市レガッタ事業実行委員会への補助金交付を通じ、市民レガッタ等の大会開催を支援した。カヌーについては、市立漕艇センターの指定事業として体験イベントを実施するなど、広く市民にカヌーの体験機会を提供した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	ボートについては、市民レガッタ大会を開催し、547名の参加があった。その他、全国市町村交流レガッタ参加クルーへの費用助成や加古川レガッタ(関西学生秋季選手権)の開催を支援することができた。 カヌーについては、指定管理者のノウハウを活用し、体験イベント等を開催した。天候不良等の理由から開催中止となったイベントもあったが、カヌー艇の一般利用につなげるなど普及啓発を図ることができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成30年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	01スポーツ・レクリエーション活動の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	小学生以上の市民	245,928 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	障がい者及び障がい者スポーツへの理解の促進と障がい者スポーツの普及を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	障がい者スポーツイベントの開催や出前講座による実技指導		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	717 千円	1,419 千円	1,223 千円
うち、一般財源	717 千円	1,419 千円	1,223 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
障がい者スポーツイベント回数	回	3	4	4		
出前講座実施回数	回	33	34	41		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
障がい者スポーツイベントの参加者数	人	418	368	643	令和8年度	600
出前講座の参加者数	人	2389	2,335	3,395	令和8年度	3,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 広く市民に障がい者スポーツの普及を図るため、各種イベントやパラスポーツチャレンジ出前講座などを実施した。特に、ボッチャ交流大会では、会場内に体験スペースを設けることで、参加者のみならず、観戦者も競技を体験できる機会を提供した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度は、一部イベントの開催時期を障がい者が参加しやすい時期に変更して実施した結果、参加者数が令和5年度比で326人増加した。また、パラスポーツチャレンジ出前講座には、計3,395人が参加した。令和5年度比で960人増加しており、障がい者スポーツの普及や理解を促進することができた。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	音楽のまちづくり事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	02文化・芸術の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及びイベント参加者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	音楽のまちを推進するため、市民が豊かな音楽に触れる機会を提供するとともに、音楽活動をされている人が演奏を披露する場を設けることで支援を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内及び近隣市町の高等学校吹奏楽部及び軽音楽部が出演するコンサートや音楽大学を卒業予定の若手クラシック音楽家による演奏会を開催する。また、市役所市民ロビーや市議会議事堂、市内名所を活用したコンサートを開催し、気軽に音楽に触れる機会を提供する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	5,770 千円	6,448 千円	7,568 千円
うち、一般財源	5,770 千円	6,448 千円	5,568 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
吹奏楽演奏会の開催	回	1	1	1		
名所コンサートの開催	回	－	6	6		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
吹奏楽演奏会の観客数	人	1,200	1,150	1,086	令和8年度	1,500
名所コンサートの観客数	人	－	910	710	令和8年度	1,200

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	昨年度に引き続き、「議場コンサート」「わがまち加古川70選名所コンサート」「ケイオンコンサート」等を実施し、市民が豊かな音楽に触れる機会を創出した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	昨年度に引き続き、「議場コンサート」「わがまち加古川70選名所コンサート」「ケイオンコンサート」等を実施し、地域の身近な場所で音楽に触れることができる機会の提供に努めた。今後も更なる創意工夫を重ね、身近に市民に喜んでいただけるような機会の提供に努める。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	棋士のまち加古川事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成25年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	01心豊かに暮らせるまち	政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
	施策	02文化・芸術の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及びイベント参加者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	「棋士のまち加古川」の普及を通じて、市民への将棋文化の振興や青少年の健全育成、健康づくり等市民のウェルネスライフの実現を目指す。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	将棋文化普及のためのイベントや教室、大会等を開催する。また、市内の一部の小学校においてプロ棋士等を講師に招いた「将棋の授業」を実施する。その他、啓発パンフレットや関連グッズの作成及び配布、将棋文化振興自治体サミットへの参加、マスコミへのPR等を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	5,522 千円	6,512 千円	6,561 千円
うち、一般財源	5,522 千円	6,512 千円	6,561 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
将棋フェスタの開催	回	1	1	1		
将棋の授業実施	校	6	9	8		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
将棋フェスタ参加者数	人	840	900	620	令和8年度	1,500
将棋の授業参加人数	人	157	304	301	令和8年度	300

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 将棋フェスタや将棋教室等の開催を通じ「棋士のまち加古川」を発信するとともに、地域の将棋文化の振興を図ることができた。また、小学校においてプロ棋士を講師とした将棋の授業を実施し、若い世代への普及促進を図った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市ゆかりのプロ棋士の協力を得ながら、引き続き「棋士のまち加古川」を発信していく。特に若い世代が将棋に触れるきっかけ作りを提供するため、小学校における将棋の授業の実施校を増やしていくとともに、将棋教室やこども将棋大会を開催し、将棋文化の振興を図る。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	雇用促進・就職支援事業 (ジョブフェア実施事業補助金)	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	05就業機会の確保と労働環境の向上		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	18歳以上25歳以下の市民	20,434 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	求職者の早期就職を支援する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	求職者の就労機会及び当地域における企業の雇用機会の拡大と推進に寄与するため、加古川公共職業安定所管内雇用対策協議会が実施するジョブフェア(新規高卒予定者、大学等卒業予定者(概ね3年以内の既卒者を含む)を対象とした合同企業面接会)の開催等に要する経費を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	500 千円	500 千円	500 千円
うち、一般財源	500 千円	500 千円	500 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
合同企業面接会参加者数	人	49	58	28		
合同企業面接会参加企業数	社	55	56	66		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
内定者数	人	12	11	7	令和8年度	50

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 市公式SNSでの発信に加え、広報かがわや市ホームページへの掲載、かこバスの車内広告などジョブフェアのPRに努めた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	昨今は就職活動が求職者に有利な状況になっており、加古川公共職業安定所管内のジョブフェアの参加者数は減少傾向にある。しかしながら、企業の人材・人員確保の観点から、当該事業を継続実施していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	奨学金返還支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度		完了(予定)年度		事業区分	事務事業に関連の深いSDGs			
平成30年度		—		⑤市施策事業(経常)				
総合計画	基本目標		_02安心して暮らせるまち			政策		_03市民生活の安全・安定を確保する
	施策		05就業機会の確保と労働環境の向上					

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	従業者(加古川市統計書)	88,858 (R3. 6. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	中小企業と大手企業の賃金格差に対する経済的支援と、若者勤労者の市内定着及び転入促進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	日本学生支援機構の奨学金貸与を受け、奨学金を返還している若者のうち、市内に居住し、かつ、中小企業等に雇用されるなど、一定の要件を満たした者に対し、返還した奨学金の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	34,121 千円	35,805 千円	37,729 千円
うち、一般財源	34,121 千円	35,805 千円	37,729 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
補助金申請件数	件	331	357	361		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
補助金交付件数	件	305	313	329	令和8年度	572
定住への影響度	%	93.5	87.8	93.3	令和8年度	95

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和5年度より支援対象者を正規雇用者に加え、正規雇用に準ずる非正規雇用者にも拡充した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	アンケートの結果から、今後の加古川市への定住を考える上で本制度が「影響する」と回答した者の割合が93%を超えており、本市への定住促進に一定の効果があつた。 令和7年度においては、さらなる本市への定住を図るため、補助期間を3年から6年に延長し、対象年齢についても、40歳未満まで拡充する。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	移住・就業支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和元年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	05就業機会の確保と労働環境の向上		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	東京圏に居住する者	3,698 (R6.10.1時点)	万人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	東京圏から加古川市への移住及び定住を促進し、中小企業等における人手不足の解消を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	兵庫県地域創生戦略及び加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、兵庫県と協働して行う『ひようごで働こう！UJIターン広報・就職促進事業』において、東京圏から加古川市に移住した者に対し、加古川市移住支援金を交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	600 千円	5,900 千円	5,600 千円
うち、一般財源	150 千円	1,475 千円	1,400 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
移住支援金申請件数	件	1	3	3		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
移住支援金対象世帯の転入者数	人	1	11	8	令和8年度	20

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 市のホームページ等で周知を図るとともに、兵庫県が東京圏に設置する移住支援窓口でチラシを配布するなど県と連携しながら広報を行った。また、18歳未満の子どもを帯同して移住する際の加算を令和5年度より30万円から100万円に拡充している。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	ホームページなど、加古川市域外への広報が可能な手段でのPRを継続するとともに、引き続き兵庫県と連携しながら広報活動を継続する。また、令和7年度より、兵庫県が「関係人口」を対象者の要件に拡充したため、本市においても要件に加える。(拡充内容:関係人口とは、転入後に農林水産業に従事し、かつ、過去に1年以上居住していた又はふるさと納税を行っていること等)
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	労働行政運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	   	
総合計画	基本目標	02安心して暮らせるまち	政策	03市民生活の安全・安定を確保する
	施策	05就業機会の確保と労働環境の向上		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	従業者(加古川市統計書)	88,858 (R3. 6. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	関係機関・団体を援助することにより、地域内の労働者福祉の充実及び就業の支援を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	メーデー負担金、(一財)兵庫県雇用開発協会負担金、(一社)加古川労働者福祉協議会補助金を交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,817 千円	4,180 千円	4,164 千円
うち、一般財源	3,817 千円	4,180 千円	4,164 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
加古川労福協会員数	人	9,447	9,509	9,659		
兵庫県雇開協賛会員数	社	695	630	662		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
労働相談件数	件	12	12	19	令和8年度	18
ゆとり創造セミナー参加者数	人	-	370	-	令和7年度	500

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 東播地区メーデー、兵庫県雇用開発協会及び加古川労働者福祉協議会に対して、負担金及び補助金を支出した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	関係機関・団体に負担金及び補助金を交付することで、雇用の促進や労働者福祉の向上について支援することができた。引き続き、労働者福祉の増進に寄与するために事業を継続する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ものづくり支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs			
平成19年度	—	⑤市施策事業(経常)				
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち		政策	02工業・地場産業を振興する	
	施策	01工業の振興				

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内ものづくり中小企業	603 (R3. 6. 1時点)	社
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	企業訪問や相談業務、セミナー開催を通じて、情報提供やノウハウの蓄積、企業間交流を促進することで、市内のものづくり中小企業の技術革新や新事業の展開、経営の安定化を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	専任のディレクターを配置し、企業訪問を実施するとともに、定期的に技術や経営に関するセミナーを開催する。また、展示会出展に際しての補助金交付や国等の実施する助成金申請に関する相談業務等を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	530 千円	1,021 千円	790 千円
うち、一般財源	530 千円	1,021 千円	790 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
訪問企業数	社	82	68	59		
セミナー等参加者数	人	117	110	122		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
ものづくり支援センター相談件数	件	111	111	115	令和8年度	150
新商品開発に係る補助金申請件数(累計)	件	49	74	90	令和8年度	130

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 企業訪問やセミナーを通して従業員の技術力向上や補助金制度の紹介など、中小企業への支援を行った。また、企業価値向上・課題解決に対する取組として、DX先進企業への見学会や展示会出展に関する補助金を交付した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	企業の経営者や担当者と直接対面し、情報の提供やニーズの聞き取りを行い、中小企業の支援を行うことができた。今後も中小企業の経営の安定化や技術力向上に向け、継続的な支援に取り組む必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	商工業振興推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	02工業・地場産業を振興する
	施策	01工業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内事業所	8,028 (R7.4.1時点)	事業所
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市内商工業の振興推進と地域経済の発展を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川商工会議所に対し、商工業の振興推進に係るセミナーの開催、創業支援等の業務を委託するとともに、市内小規模事業者の経営の改善発達を支援する事業に係る経費の一部を補助する。また、加古川再開発ビル(株)が行う加古川駅前商業施設のテナント誘致等に向けた事業に係る経費の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	15,132 千円	10,600 千円	28,050 千円
うち、一般財源	15,132 千円	10,600 千円	28,050 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
研修会開催回数	回	27	27	24		
指導・相談件数	件	5,174	4,751	4,852		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
研修参加者数	人	1,180	1,093	919	令和8年度	1,500
指導・相談件数	件	5,174	4,751	4,852	令和8年度	5,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 物価高騰等に関する市内事業者の状況について、加古川商工会議所と情報交換を行う機会を適宜設けた。また、加古川商工会議所においては、引き続き、創業希望者からの相談をはじめ、中小事業者からの多様な相談に応じ、指導できる体制が整えられた。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	加古川商工会議所による経営相談や指導、各種セミナー等を通じて、市内商工業者の経営基盤の強化・安定化に寄与している。また、加古川再開発ビル(株)への補助事業については、既に入店が決定した店舗もあり、商業施設の機能向上に向け着実に取組を進めることができている旨を聴取していることから、引き続き事業を実施することで、加古川駅前の賑わい創出に繋げる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	企業立地促進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち		政策
	施策	01工業の振興		02工業・地場産業を振興する

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	本市内の産業用地に事業所を立地する可能性がある事業者		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業者が旧公設地方卸売市場跡地をはじめとする市内産業用地に事業所を立地することで、市勢の発展と雇用機会拡大による市民生活の向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内の産業用地や市の制度について周知し、企業へ誘致活動を展開する際に必要なガイドブックの作成を行う。 また、エンドユーザーに対するアンケート調査等の業務を委託する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	- 千円	- 千円	354 千円
うち、一般財源	- 千円	- 千円	354 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
立地ガイド配布部数	部	-	-	858		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
相談件数	件	-	-	22	令和8年度	50
企業立地件数(累計)	件	-	-	0	令和8年度	6

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	令和6年度は、業務委託により国内企業にアンケート調査等を行い、旧公設地方卸売市場跡地のニーズ調査及び国内企業の投資動向の把握に努めた。また、本市の企業誘致支援メニュー等を掲載した企業立地ガイドパンフレットを作成し、エンドユーザーや関係機関等へ働きかけを行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	今後予定されている旧公設地方卸売市場跡地の跡地活用事業者募集にあたり、用地情報等を広く周知する必要があるため、事業を継続する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	企業立地促進奨励金交付事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成7年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち		政策
	施策	01工業の振興		02工業・地場産業を振興する

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	工業系用途地域へ工場等を新設・移設する事業者		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	企業の適正立地を促進し、税収確保による市勢の発展と雇用機会拡大による市民生活の向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	各企業からの申請を精査し、土地、建物及び償却資産に係る固定資産税の2分の1に相当する奨励金を3年間交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	590 千円	— 千円	8,968 千円
うち、一般財源	590 千円	— 千円	8,968 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
奨励金交付件数	件	1	—	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
雇用者数	人	13	—	24	令和8年度	90

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和6年度は、交付申請のあった企業に対し、奨励金の交付を行った。(1件) また、企業誘致に向け、市内に立地を希望する企業のニーズ把握に努め、立地意向を確認した企業に対して事業の周知を行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	令和6年度は、新たに2件の具体的な事前相談を受け付けた。 また、今後市内における新たな産業用地の創出により、補助対象となる企業の立地が見込まれていることから、継続して事業を実施する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	商業団体等元気アップ補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	01商業・サービス業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	商店街等		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	商店街等への集客を促し、商業の活性化及び賑わいの創出を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	商店街等が地域と一体となって実施するイベント等に係る経費の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	1,141 千円	1,135 千円
うち、一般財源	0 千円	1,141 千円	1,135 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
イベント開催回数	回	0	5	5		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
イベント来場者数	人	0	21,800	24,831	令和8年度	25,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 商店街や商店街に所在する事業者が主体となって実施するイベントを支援することで、賑わいの創出及び商業の活性化に寄与した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	商店街や商店街に所在する事業者が主体となって実施するイベントを支援することで、賑わいの創出及び商業の活性化に寄与している。また、JR加古川駅周辺の公共空間を活用したイベント実施との相乗効果も期待されることから、商店街等が主体となったイベント実施への動機付けとなるよう引き続き支援を継続する。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	空き店舗等活用支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	01商業・サービス業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	対象地域の空き店舗等に新規出店する事業者		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	対象地域の商業の活性化及び空き家活用の促進を図るため、対象地域における空き店舗等への出店及び出店後の事業継続を支援し、対象地域の賑わいを創出する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	JR加古川駅周辺及びJR東加古川駅周辺の商業地域並びに市街化調整区域において、空き店舗等を活用し、飲食業、小売業及び生活関連サービス業等を出店する者に対し、賃借料等の一部を補助する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,149 千円	12,407 千円	22,892 千円
うち、一般財源	3,149 千円	12,407 千円	22,892 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
補助金交付者数	者	9	32	43		
補助金交付額	千円	3,132	12,397	22,884		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
来客数	人	34,902	147,510	253,636	令和8年度	100,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 対象地域における空き店舗等の解消とともに商業活性化を促進した。 令和6年度は、補助金を交付した43者のうち14者が新たに本制度を活用した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	補助を受けた店舗の多くが継続的に営業を続けており、対象地域における空き店舗等の解消とともに商業活性化に寄与している。また、令和5年度に行った制度拡充により補助金交付額が大幅に増加したことから、引き続き市内商業のさらなる活性化を図る。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	旧公設地方卸売市場整理事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和3年度	令和7年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	01商業・サービス業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	旧公設卸売市場	1 (R7.3.31時点)	箇所
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	令和3年度末で閉場(廃止)となった旧卸売市場の跡地を産業用地として活用する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	跡地活用に向け、場内解体工事を進めるとともに跡地活用を検討する事業者へのサウンディングを実施した。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	56,283 千円	74,887 千円	214,375 千円
うち、一般財源	56,283 千円	74,887 千円	14,375 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
サウンディング実施回数	回	1	0	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
サウンディング参加事業者	社	11	0	12	令和6年度	12

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 引き続き場内解体工事を実施しつつ、跡地活用事業者の公募業務を進める。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	公設市場跡地を産業用地として活用するため、場内解体工事を進めるとともに、事業者へのサウンディング調査を実施した。令和7年度は引き続き解体工事を実施しつつ、跡地活用事業者の公募を行う予定。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川市花火大会開催事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs
昭和47年度	—	⑥市施策事業(臨時)	
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策 03商業・観光を振興する
	施策	02観光の振興	

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市内のどこに住んでいても、誰でも自宅付近で、安心して楽しめる花火大会を開催することにより、市民のふるさと意識の高揚を図るとともに、連帯の輪を広げ地域の絆を深めるために実施するもの。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	加古川市花火大会の実施		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	20,771 千円	32,350 千円	54,057 千円
うち、一般財源	20,771 千円	32,350 千円	54,057 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
花火打ち上げ場所数	か所	5	6	7		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
満足度(アンケートより)	%	86.3	74.4	78.6	令和8年度	90

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 令和5年度実施後のアンケート結果から、花火が見え辛い地域があったため、令和6年度は打上場所を1か所増やし、市内全体で7か所から花火を打ち上げた。また、密集・混雑状態での雑踏事故の危険性を回避するため、露店や観覧席を設けず、安全性を最優先事項として花火大会を実施した。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	分散型花火大会の開催により、雑踏事故の危険性が少なく、安全性を維持しながら花火大会を実施できた。 また、アンケートの結果では、市民の満足度(分散型花火大会を大変良かった、良かったと回答した割合)が78.6%であり、多くの市民から満足いただいているが、今後もより多くの市民に楽しんでもいただけるよう、打上場所を含めた実施方法などについて、継続して検討していく。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	観光まちづくり推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成28年度	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち		政策
	施策	02観光の振興		03商業・観光を振興する

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市民及び市外在住者	254,947 (R6. 10. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川市の観光情報を発信し、市民には市の魅力再発見を促し、市外在住者には加古川市への来訪意欲を高める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	令和2年度から令和6年度を戦略期間とした第2次加古川市観光まちづくり戦略に基づき、SNSによる情報発信及び、インフルエンサーによる市内施設の撮影会(フォトセッションツアー)の実施、観光戦略会議の実施、パンフレットの作成などを行った。また、令和7年度以降の新たな5か年計画として加古川市観光まちづくりプランを策定した。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	4,056 千円	3,560 千円	10,527 千円
うち、一般財源	4,056 千円	3,560 千円	10,527 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
戦略に基づく事業実施数	回	15	10	13		
インスタグラム投稿数	回	41	51	51		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
観光入込客数(兵庫県観光客動態調査)	人	1,011,512	1,014,725	1,185,881	令和6年度	2,464,000
インスタグラムフォロワー数	アカウント	4,682	5,857	7,155	令和6年度	7,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 加古川観光協会と連携し、第2次加古川市観光まちづくり戦略に掲げた事業を順調に実施した。SNS発信については、リーチ数やリアクション数を分析し、投稿内容に反映するなどの試みにより、新たに多くのフォロワーの獲得に成功した。また、令和7年度から令和11年度までの観光施策の基本的な方向性を示した加古川市観光まちづくりプランを策定した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	大阪・関西万博の開催により、近畿圏内に観光客が増加することが見込まれることから、兵庫県域や東播磨地域内での連携を活用し、観光入込客数の増加に向けた事業の実施や情報発信を実施する必要がある。 また、新たに策定した加古川市観光まちづくりプランに基づき、さらなる観光振興に取り組む。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ふるさと納税推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成27年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	06まちづくりの進め方	政策	01まちづくりの進め方
	施策	02シテップロモーションの推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市のまちづくりに賛同し、ふるさと納税(寄附金)をした方及び返礼品の選定を受けた地元事業者(以下「協賛事業者」という。)	寄附件数15,351、協賛事業者数101 (R7.3.31時点)	寄附件数:件 協賛事業者:者
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	本市のPR、地域産業の振興、財源の確保を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	寄附者に対し、寄附金額に応じて返礼品を贈呈する。返礼品は協賛事業者が提供する品の中から、寄附者が選択する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	206,378 千円	262,784 千円	223,955 千円
うち、一般財源	206,378 千円	262,784 千円	223,955 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
返礼品の品目	種類	578	703	812		
掲載サイト	件	9	10	11		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
寄附採納	千円	401,559	491,958	452,190	令和8年度	500,000
返礼品支出額	千円	118,353	141,389	115,454	令和8年度	150,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	加古川観光協会と連携した返礼品の開発やPR、並びにポータルサイトを活用したPRを実施した。 一方で、ふるさと納税制度の改正により、経費の考え方が厳格化されたため、返礼品の寄附単価を増額させたことから、寄附件数が減少し、寄附額も前年度より減少した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	事業実施により、本市のPR、地域産業の振興、財源の確保について、一定の成果は得られている。 しかし、寄附単価を引き上げたことや、自治体間の競争激化などの影響により、寄附件数や寄附額が減少しているため、寄附者の減少を防ぐためのリピーターの獲得に向けた取組の検討や、利用者の多いポータルサイトの効果的な活用が必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	コワーキングスペース開設支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和2年度	令和6年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	01商業・サービス業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	コワーキングスペース開設希望者		
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	テレワークや副業等の多様な働き方に対応した拠点を創出する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市内で新たにコワーキングスペースを開設する事業者で、兵庫県「コワーキングスペース開設支援事業(整備支援型)」補助金の交付を受けるものに対し、建物改修費等に係る経費の一部を補助する(本事業は、県の随伴補助事業である)。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	201 千円	2,485 千円
うち、一般財源	0 千円	201 千円	2,485 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
相談件数	件	0	2	2		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
開設数	件	0	1	1	令和6年度	1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 令和6年度は、令和5年度と同様に1件の応募があり、県・市それぞれから補助金を交付した。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	テレワーク・副業等の場所や時間を選ばない多様な働き方を支援するため実施してきたが、このたび、県事業は令和6年度をもって終了し、令和7年度は予算措置しない意向が示された。このことを受け、県の随伴補助事業である市事業においても令和6年度をもって事業を終了することとした。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	(一社)加古川観光協会補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	産業振興課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	02観光の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	一般社団法人加古川観光協会	1 (R7. 3. 31時点)	団体
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	加古川市の魅力を高め、観光によるまちづくりに貢献し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちを創出するための事業等の実施を支援する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	観光事業を展開している一般社団法人加古川観光協会に対して補助金を交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	31,212 千円	40,880 千円	43,254 千円
うち、一般財源	31,212 千円	40,880 千円	43,254 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
補助団体数	団体	1	1	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
観光入込客数 (兵庫県観光客動態調査)	人	1,011,512	1,014,725	1,185,881	令和6年度	2,464,000
観光協会ホームページ閲覧数	回	285,018	432,981	507,026	令和6年度	200,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 加古川観光協会へ補助金を交付し、同協会が展開する観光事業等に対して支援を行った。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	変化の早い観光ニーズに対応し、より一層の観光振興を進めていくに当たり、観光協会の安定的な運営が欠かせないため、今後も補助を続けていく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	有害鳥獣等対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	01農業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、主に市内農業者(有害鳥獣等捕獲業務)	6,071 (R7. 3. 31時点)	戸
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	農作物に被害を与える有害鳥獣、特定外来生物を捕獲し、生息数を減少させることで、農業者の生産意欲の低下を防ぎ、同時に動植物の生息環境の保全を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	・有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託(有害鳥獣等捕獲業務) ・鳥獣侵入防護柵整備補助		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	13,479 千円	9,302 千円	7,895 千円
うち、一般財源	13,275 千円	9,113 千円	7,735 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
捕獲頭数(イノシシ)	頭	298	179	207		
捕獲頭数(特定外来生物)	頭	685	700	939		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
農作物鳥獣被害額	千円	12,651	6,522	9,426	令和9年度	4,336

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託し、市内全域で捕獲活動を実施した。 令和2年度から、市単独事業にて侵入防護柵の設置地区の拡大・推進に努めており、令和6年度も引き続き侵入防護柵の設置に係る補助事業を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	イノシシの被害地域が拡大傾向にあり、特定外来生物の捕獲頭数も増加傾向にある中、鳥獣による農作物被害額についても令和6年度は増加に転じたため、今後有害鳥獣等対策事業は継続して実施する必要がある。その一方で鳥獣を寄せ付けている餌資源(野菜残さ、放任果樹等)の縮減や防護柵の整備など、鳥獣を寄せ付けない地域づくりを推進する必要がある。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	農地集積対策事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成26年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	01農業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	農業振興地域内の農地	2,430 (R7. 3. 31時点)	ha
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	長期的かつ安定した農業経営確立のために、点在した農地を担い手へ集積・集約する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	農地中間管理機構を利用した担い手への農地の集積・集約化の推進について、機構に対し農地を貸し付けた地域へ農地集積協力金を交付する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,208 千円	1,121 千円	272 千円
うち、一般財源	0 千円	0 千円	0 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
地域集積協力金交付額	円	5,137,000	667,000	204,100		
集約化奨励金交付額	円	－	－	68,000		
経営転換協力金交付額	円	1,071,000	454,000	－		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
農地集積面積	m ²	2,212,837	2,347,704	2,438,250	令和8年度	2,230,193
中間管理機構への集積率	%	9	9.6	9.9	令和8年度	9.1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	地域に対して農地中間管理機構の活用を促し、担い手への集積・集約化を推進した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	農地集積面積及び中間管理機構への集積率がともに増加傾向にあり、農地中間管理機構を利用した担い手への農地の集積が、着実に進んでいる。 集落内の点在した農地を担い手が引き受けることは、作業効率が悪く、農業経営に支障をきたしていると考えられるため、集約した農地を担い手に貸し渡すことで、長期的かつ安定した農業経営の確立に役立つと考えられる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	就農環境向上事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs
令和6年度	—	⑥市施策事業(臨時)	
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策
	施策	01農業の振興	01農業・水産業を振興する

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	令和6年度以降、新たに認定を受けた認定農業者・認定新規就農者	5 (R7. 3. 31時点)	者
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	担い手不足の解消に向けて、営農開始を支援する資金の交付を行うことで、就農者の定着を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	営農開始に向けた研修を受けている者や新たに営農を開始した者に補助金を交付した。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	— 千円	2,413 千円
うち、一般財源	— 千円	— 千円	2,413 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
補助金交付対象者	者	－	－	5		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
補助金交付対象者の経営耕地面積(累計)	a	－	－	113.6	令和8年度	358

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和6年度開始の新規事業。アグリスタート補助金(準備型)を2者に交付した。また、アグリスタート補助金(開始型)を5者に交付した。なお、開始型のうち2者は、準備型と重複している。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	農業の担い手に対する支援として、国庫の補助事業が展開されているなか、市独自でも営農開始を支援する資金の交付を行い、他の市町村と差別化することで、就農者の定着を図る。 農業の担い手不足は喫緊の課題であり、持続可能な農業の実現のためにも、本事業は効果的であると考えます。
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	地産地消推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成29年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	01農業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市内の小学校・中学校・養護学校・義務教育学校の児童・生徒	19,687 (R6. 4. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	給食や調理実習を通して市内の児童・生徒に地元産食材の魅力を広く周知するとともに、地元産食材に関する理解を深める。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	【かこがわ食材学習支援事業】小学校5・6年生対象の調理実習で使用する加古川産食材の確保と、食育に関する授業に要する経費について市が負担する。 【加古川市地元産食材給食推進事業】加古川市地元産食材を学校給食で使用するために、通常使用食材との価格差を市が補てんする。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,316 千円	2,400 千円	2,372 千円
うち、一般財源	2,316 千円	2,400 千円	2,372 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
かこがわ食材学習 支援事業実施児童数	人	1,444	1,579	1,492		
地元産食材の使用量	kg	20,009	19,938	17,321		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
かこがわ食材学習支援 事業の実施児童割合	%	31	35	35	令和8年度	45
地元産食材の1人当たりの使用量	kg	1	1	1	令和8年度	1

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	かこがわ食材学習支援事業が小学校・義務教育学校のうち19校で実施され、調理実習後に児童に行ったアンケートでは、約97%の児童が地元産食材について理解が深まったと回答した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	加古川市地元産食材給食推進事業は、学校給食で志方健やか米、加古川パスタを引き続き使用して地産地消の推進を図る。また、かこがわ食材学習支援事業は、例年、一定数の学校が取り組んでおり、実施校から好評を得ている。地元産食材の魅力を知らってもらうことは重要であることから、引き続き周知を図り、新規の取組校を増やす。
今後の展開	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	市内特産品等プロモーション推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	—	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	01農業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	加古川市の特産品	6 (R7. 3. 31時点)	種
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	「加古川和牛」や「加古川パスタ」といった市内特産品ブランドについて、認知度向上、販売促進、ふるさと納税額の増加につなげる。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	阪急電車を広告媒体とした電車及び駅広告、インターネットにおけるバナー広告を実施するとともに、各地で開催されるイベントにてPRブースの出展及びチラシの配布を行うことで、市内外の住民に対してPRを行った。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	— 千円	2,542 千円
うち、一般財源	— 千円	— 千円	2,542 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
駅構内ポスター広告掲出先	駅	—	—	10		
チラシ配布数	部	—	—	2,343		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
HPアクセス数	件	—	—	16,189	令和8年度	19,600
バナー広告クリック数	件	—	—	27,844	令和8年度	33,700

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
	令和6年度開始の新規事業。阪急電車を広告媒体とした車両ドアステッカー及び駅構内ポスターの掲出、インターネットにおけるバナー広告掲出を実施した。また、各地のイベントでのPRブース出展及びPRチラシ配布を実施した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	広告事業については、広告掲出後に各SNSにて広告の写真が掲載される等、直接的な認知拡大だけではなく、副次的な周囲への認知の拡散まで繋げることができた。また、ホームページ閲覧数及びバナー広告クリック数から判断すると、居住地等を問わずに、広範囲の住民に対してアプローチが行えたと言える。本事業は、普及促進という点で、一定の効果が出ていると考える。
今後の展開	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	畜産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
平成15年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	01農業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市内畜産農家	21 (R6. 7. 31時点)	戸
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市内の畜産農家数はほぼ現状維持されているものの、一部農家では高齢化や担い手不足が懸念される。そのため、牛枝肉共励会の開催や加古川和牛のブランド確立により、市内の畜産業の活性化及び生産者の意欲向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	畜産農家の肉用牛生産の振興と肥育技術の確立及び枝肉の肉質向上を目的とし、牛枝肉共励会を開催する。 また、加古川和牛のブランド普及のため、加古川和牛流通推進協議会に対し、負担金を支出し、各関係機関と連携を図りながら、効果的なPRを推進する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,586 千円	16,312 千円	393 千円
うち、一般財源	388 千円	395 千円	393 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
共励会開催回数(市主催)	回	1	1	1		
加古川和牛流通推進協議会負担金額	円	200,000	200,000	200,000		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
市内畜産農家戸数	戸	20	19	21	令和8年度	21
加古川和牛取扱加盟店舗数	店	17	17	16	令和8年度	17

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	加古川和牛のブランド普及については、加古川和牛流通推進協議会と連携を図りながらPR活動を行うことで、生産者の意欲向上に寄与したものとする。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	一部農家の高齢化や担い手不足等が懸念される厳しい状況の中、市内畜産農家戸数をほぼ現状維持できていることから、共励会の開催や加古川和牛のブランド普及活動が、市内畜産業の活性化及び畜産農家の生産意欲の向上に一定の効果があるものとするが、今後も、農家戸数の維持のみならず、新規就農者の増加に繋げるため、より効果的な方法を検討する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	水産振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	 	
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	01農業・水産業を振興する
	施策	02水産業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	東播磨漁業協同組合、加古川漁業協同組合	2 (R7.3.31点)	団体
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	全国的に漁獲高は減少傾向にあり、加古川市においても漁業者数の減少が懸念される。水産資源の増加や水質向上に向けた取組みや、漁業者負担の軽減のための支援を行うことで、漁業経営の安定化及び漁業者数の維持を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	水産資源の増加のために、稚魚放流やタコつぼ投入等の取組みに対する補助を行うとともに、水質向上のために、海底耕うんやハマグリ等の生物移植、河川清掃等の取組みを支援する。また、漁業経営の安定化を図るため、漁業組合員の漁船保険費用の一部補助や、浮標灯設置に対する補助を行う。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	6,360 千円	6,173 千円	4,402 千円
うち、一般財源	4,308 千円	4,259 千円	4,377 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
水産資源向上活動実施回数	回	2	2	2		
水産多面的機能発揮 対策活動実施回数	回	9	9	9		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
漁業経営体数	経営体	47	47	47	令和8年度	47

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 水産資源の増加と豊かな漁場の確保に向けた取組みである、ひらめ等稚魚放流事業及びタコつぼ投入事業への補助等を行うことで、漁業経営の安定化及び漁業者数の維持、資源管理型漁業の促進を図った。
------------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	漁業者数がほぼ現状維持されていることから、水産資源の増加や漁業者負担軽減のための各種支援策について一定の効果ができていると考える。一方、漁業者から、市内の漁獲量が減少傾向にあるといった声も挙がっているため、引き続き水産資源の増加のための取組みに対する支援を継続的に行うなど、今後も、漁場環境改善及び漁業経営の安定化に向け、事業を実施する必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	加古川食肉センター管理運営負担事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和60年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	03活力とにぎわいのあるまち	政策	03商業・観光を振興する
	施策	01商業・サービス業の振興		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	食肉センター管理運営事業者	1 (R7. 3. 31時点)	者
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市内をはじめ、全国の消費者に対し、安全・安心な食肉を安定的に供給するとともに、地場産業の活性化を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	食肉センター管理運営事業者に対し、食肉センターの管理運営に要する経費の一部を負担する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	155,000 千円	148,000 千円	118,000 千円
うち、一般財源	155,000 千円	148,000 千円	118,000 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
管理運営負担金	千円	155,000	148,000	118,000		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
と畜頭数	頭	7,318	8,026	8,378	令和8年度	8,400

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	コロナ禍の影響から回復傾向にあった牛の搬入数をより増加させるため、意識的な出荷要請活動を行った結果、令和5年度、令和6年度ともに前年度を上回ると畜頭数となった。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	地場産業である食肉産業の中核施設であり、安全・安心な食肉を安定供給するために、食肉センターを管理運営している公益財団法人加古川食肉公社に対して、市が負担金を支出することは、公益性の実現に大きく寄与していると考ええる。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	林業振興事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	05うるおいのあるまち	政策	01地球環境と地域の環境を保全する
	施策	02地域の自然環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	森林又は公園を憩いの場として利用する市民	254,418 (R7. 3. 1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	森林の保全を促進するため、地域住民が協力して里山林等の保全管理を実施していく体制を整えることで、憩いの場となるような整備された森林や公園を増やし、市民の生活にうるおいを与える。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	森林の保全により、生物多様性保全、水源の涵養、地球温暖化の防止などの森林の機能を発揮するため、森林整備に取り組む活動組織に対して支援を実施する。また、令和4年度から森林環境譲与税を活用して、小規模の森林整備を行う団体や、傾斜地等の危険木の撤去及び処分を行う者への支援を実施している。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,922 千円	10,536 千円	14,422 千円
うち、一般財源	2,922 千円	10,536 千円	14,422 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
森林整備実施団体	団体	13	10	7		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
森林整備面積	ha	7.9	7	5.4	令和8年度	8

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 森林環境譲与税を活用した取り組みとして、地域住民の森林整備活動を対象とした市単独補助事業を引き続き実施。また、見土呂フルーツパーク森林内に遊歩道を設置するための工事を行った。
------------------------------	---

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるには、地域住民が協力して里山林等の保全管理を実施していく体制を整える必要がある。このため、継続的に各種補助事業の周知を図るとともに、森林環境譲与税を活用した取組を進める必要がある。また、各事業を実施するにあたっては、利害関係者である森林の土地所有者等に対して、理解・賛同を得るプロセスが必要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	再生可能エネルギー利用設備設置費補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和12年度	⑦投資事業		
総合計画	基本目標	05 うるおいのあるまち	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
	施策	01 地球環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、事業者	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	再生可能エネルギー導入を促進し、市域の「家庭部門」及び「産業部門」における温室効果ガス排出量の削減を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	住宅用及び事業用の太陽光発電設備に係る設置補助を行った。自家消費を促すために、FIT及びFIP制度に登録しないこと等を補助要件とした。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	－ 千円	－ 千円	97,597 千円
うち、一般財源	－ 千円	－ 千円	17 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
住宅用補助件数	件	-	-	99		
事業用補助件数	件	-	-	4		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
補助による住宅用設置容量	kW	-	-	497	令和7年度	250
補助による事業用設置容量	kW	-	-	703	令和7年度	1,000

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	設備設置補助を行うとともに、共同購入支援事業者との協定締結により、さらなる導入費用の低減を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	太陽光発電設備設置補助による導入容量は計1,200kWであり、計算上のCO2排出削減量は636t-CO2であった。自家消費できない発電分の売電が意外に容易であったことで、補助申請は見込みを上回る件数となり、特に事業用については早期に予算上限に達した。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	電動車等普及促進事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和4年度	令和12年度	⑥市施策事業(臨時)	  	
総合計画	基本目標	05 うるおいのあるまち	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
	施策	01 地球環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	事業者	8,028 (R3. 6. 1時点)	事業所
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民の生活様式を、脱炭素型のライフスタイルへと転換するため、電気自動車等の充電ステーション設置補助を実施し、市域への電気自動車等の更なる導入促進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	充電ステーションの設置費用に1/2を乗じた額を補助した。急速充電ステーションは上限200万円、普通充電ステーションは上限10万円。 また、電動公用車の導入に合わせて市施設への充電設備を設置した。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	52,728 千円	794 千円	1,557 千円
うち、一般財源	9,925 千円	794 千円	861 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
公用車用充電設備設置数	基	-	-	9		
プレスリリース回数	回	3	1	2		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
充電ステーション補助基数	基	0	12	9	令和6年度	20
公用車(軽四貨物・乗用)の電動車割合	%	-	5.2	9.3	令和12年度	70

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☒ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 事業者の充電ステーション設備9基(全て普通充電ステーション)の設置について補助した。また、協定事業者により公共施設4か所へ初めて普通充電ステーション計16台(各施設4台)分を設置した。公用車用としては、新たに8施設に充電設備を設置した。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	充電ステーション設置補助は当初の見込みを下回る実績となった。 環境基本計画による脱炭素に向けたロードマップどおり補助事業はR6年度限りとし、今後は公用車のEV化を進めるとともに、産業・運輸部門におけるトラックやバス等の電動化促進について調査研究を行う。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☒ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ゼロカーボンパートナーシップ事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和5年度	令和12年度	⑤市施策事業(経常)	  	
総合計画	基本目標	05 うるおいのあるまち	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
	施策	01 地球環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	事業者	8,028 (R3. 6. 1時点)	事業所
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市と事業者が連携することで事業者の地球温暖化対策の機運を高め、市内の産業及び業務部門の温室効果ガス排出量の削減を推進する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市は脱炭素経営に関する勉強会の開催並びに設備の省エネルギーに資する診断や省エネルギー改修に関する支援及び情報提供を実施する。また、事業者は「かんきょう出前講座」の講師を担っていただく等、市の事業に協力いただく。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	— 千円	232 千円	20,510 千円
うち、一般財源	— 千円	232 千円	510 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
省エネ診断 受診事業者数	事業者	—	1	22		
ゼロカーボンパートナーのつどい開催回数	回	—	1	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
協定締結数	事業者	—	39	45	令和7年度	40
補助事業によるCO2排出削減量	t-CO2	—	—	25.3	令和7年度	38

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☒ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	パートナー事業者を対象とした省エネ設備導入補助制度を創設した。また、ゼロカーボンパートナーのつどい(脱炭素に係る研修会)を開催し、事業者間の交流を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	協定締結数は目標に達し、パートナー事業者と連携して実施したかんきょう出前講座を5回開催するなど、事業者との連携を図ることができた。 また、パートナー事業者を対象にした補助も需要が大きく、10月には予算の上限に達した。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	あなたのエコ暮らし応援事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
令和6年度	令和12年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	05 うるおいのあるまち	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
	施策	01 地球環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	家庭におけるエネルギー消費量を抑えることで、市域の「家庭部門」における温室効果ガス排出量を削減する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	家庭においてエネルギー消費量の大きい給湯器をエコキュート、ハイブリッド給湯器へ更新する補助、及び、空調効率の改善が図れる窓断熱リフォーム経費の補助を行った。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	－ 千円	－ 千円	21,673 千円
うち、一般財源	－ 千円	－ 千円	83 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
給湯器補助件数	件	-	-	520		
窓断熱補助件数	件	-	-	1		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
補助事業によるCO2排出削減量	t-CO2	-	-	335	令和7年度	322

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☐ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	給湯器の補助については、国の給湯省エネ事業による補助との併用(15万円と国補助額との差額を補助)とした。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	給湯器については国補助金との併用とすることで、補助単価を下げつつ多くの補助件数に繋がり、効果的に省エネを促進できた。一方で窓断熱については国補助との併用を不可としており、問合せがあっても、より充実した国補助の紹介で終わるなど、ほとんどが市補助の申請に至らなかった。
今後の展開	☐ 拡充 ☐ 維持 ☒ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	環境教育啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	05 うるおいのあるまち	政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
	施策	01 地球環境の保全		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、事業者、市民活動団体	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民活動団体、事業者、学識経験者と連携して、地球温暖化対策や生物多様性の保全等に対する環境意識の向上を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	「かこがわecoフェスタ」「エコ暮らし相談会」「自然観察会」等の環境イベントの他に、「環境セミナー」や「かんきょう出前講座」等の学習会を実施する。また、緑のカーテンの普及を図る。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	460 千円	360 千円	142 千円
うち、一般財源	459 千円	359 千円	141 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
広報かこがわ関連記事掲載回数	回	5	5	7		
環境教育啓発事業の実施回数	回	14	13	17		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
自然観察会参加者数	人	26	83	73	令和7年度	80
環境教育啓発事業の参加者数	人	3,074	2,568	2,747	令和7年度	2,800

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	商業施設において市民を対象とした環境イベントを前年同様、年2回開催した。また、子どもや親子を対象とした環境啓発イベントを開催した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	産学官民一体となって持続可能な発展を目指すため、市民活動団体、事業者、学識経験者と連携した地球温暖化対策や生物多様性の保全についての啓発、教育を今後も継続して実施することが重要である。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	集団回収奨励事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
昭和55年度	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	05うるおいのあるまち	政策	02資源の循環と環境美化を推進する
	施策	01ごみの減量・再資源化の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	集団回収活動を行う市内各団体	252 (R7. 3. 31時点)	団体
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	資源回収意欲を高め、ごみ減量及び資源の有効活用を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	集団回収された資源物(紙類・衣類)について、回収量1kgあたり7円の奨励金を交付し、団体の集団回収活動を奨励する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	16,753 千円	15,763 千円	12,890 千円
うち、一般財源	16,753 千円	15,763 千円	12,890 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
集団回収回数	回	2,261	2,235	2,188		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
集団回収量	トン	2,469	2,322	1,892	令和14年度	2,154

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	コロナ禍により活動を縮小していた団体が活動を再開する傾向も見られるが、少年団や子供会の団体数の減少と新聞や雑誌等の紙媒体の減少のため、回収量の減少傾向は継続している。申請を年2回に集約することで団体の負担軽減を図る仕組みについて引き続き周知した。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	集団回収活動を奨励することにより資源物の分別が進み、また資源物回収量が増加することにより、ごみの排出抑制および資源の有効活用が図られているため、今後も継続していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	ごみ減量化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	05うるおいのあるまち	政策	02資源の循環と環境美化を推進する
	施策	01ごみの減量・再資源化の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	全市民、全事業所	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	市民及び事業所にごみ減量に対する意識を持ってもらい、ごみの減量及び資源化を推進する。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	チラシ配布や出前講座などの啓発、補助金の交付、協力店の募集、事業所への出前講座や戸別訪問、児童生徒への環境教育や標語・ポスターの募集。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	3,308 千円	2,899 千円	5,281 千円
うち、一般財源	2,695 千円	2,713 千円	5,281 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
生ごみ処理機等購入補助件数	件	74	94	110		
成果指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目標値
資源物収集量	トン	9,939	9,857	9,943	令和14年度	9,894

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果 及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了
	生ごみ処理機等の購入に対して補助を行うなど、燃やすごみの減量を図り、フードドライブの実施や「てまえどり」運動などの啓発により食品ロス削減を図った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	市民のごみ減量に対する意識の醸成が進み、ごみの焼却処理量は目標を上回る減量を達成しており、今後はカーボンニュートラルに向けた啓発等を継続して、ごみ減量と3Rの推進を進めていく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了

加古川市事務事業評価シート＜令和6年度実施事業＞

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境保全課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
—	—	⑤市施策事業(経常)		
総合計画	基本目標	_05うるおいのあるまち	政策	02資源の循環と環境美化を推進する
	施策	02環境美化の推進		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員	254,947 (R6.10.1時点)	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	安全な市民生活の確保と保健衛生の推進を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	安全な市民生活の確保を図るため、スズメバチの巣の早期駆除を促進し、駆除費に対する補助を行う。また、保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。		

【コスト】

	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算見込)
事業費合計	2,200 千円	1,917 千円	1,733 千円
うち、一般財源	2,200 千円	1,917 千円	1,733 千円

【評価指標】

活 動 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
スズメバチ駆除補助金額	千円	1,000	717	733		
補助団体数(保健衛生協議会)	団体	1	1	1		
成 果 指 標 名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標年度	目 標 値
スズメバチ駆除補助件数	件	111	77	78	令和8年度	100
保健衛生協議会会議開催回数	回	5	6	7	令和8年度	7

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和5年度評価結果及び 令和6年度取組事項	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了 スズメバチ駆除費に対する補助については、市ホームページや広報かがわ等により周知啓発を行った。保健衛生協議会については、会計監査、常任理事会、総会・理事会、各部会(総務、企画、研修)及び代表推進委員会の開催に係る運営支援を行った。
--------------------------	--

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	スズメバチ駆除費に対する補助については、季節の状況によって毎年発生状況が変化することから、維持しながら傾向の判断が必要となる。家庭ごみの拠点回収に伴うごみ分別の徹底及びごみ集積場の環境保持・機能保全など、地域の環境衛生の推進を図っている保健衛生協議会については、効率的に運営が行えるよう支援するとともに、今後のあり方についても引き続き協議を継続していく必要がある。
今後の展開	☐ 拡充 ☒ 維持 ☐ 縮小 ☐ 改善 ☐ 統合 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 完了